

青年部会広報 **絆** - K I Z U N A - No.041 2020.4

(一社)群馬県トラック協会青年部会広報委員会 編集・発行

令和元年度青年部会全体研修交流会を開催

- 開催日 令和2年1月18日(土)
- 場 所 前橋さくらホテル
- 参加者 部会員48名・他11名
(総勢59名)

令和初めての令和元年度青年部会全体研修交流会を多くのご来賓の方々をお迎えし盛大に開催しました。

始めに青年部会宣言「健全経営を目指して」を全員で唱和後、開会の挨拶を磯野部会長、公務ご多用の中ご出席いただきました県トラック協会・武井会長より激励のご挨拶をいただきました。

研修の部では、最初に令和元年度青年部会活動について、各委員会から取り組みについて活動紹介が行われました。

続いて、一昨年まで行っていた各社の交通事故・労働災害防止事例発表会から、全員参加型のディスカッション形式に形式を変更し、株式会社アスアより永井和則様を講師にお招きし、各事事故事例に対しグループごとにディスカッションを行いました。各グループとも事故防止のための様々な対策と、実効性のある、事故当事者以外の従業員にも他人事で終わらせない対策等、グループごとに知恵を出し合い事故防止策をまとめ、代表して5名の発表を行い永井講師から総括して講評をいただきました。

今回、少人数のグループディスカッション形式で行ったため、全員が話し合いに参加し、問題意識の共有ができたことは非常に意義深い体験になりました。

続いて行われた交流会では、県トラック協会・原副会長よりご来賓を代表してご挨拶を頂戴し、県トラック協会・佐藤副会長から乾杯のご発声をいただきました。

また、磯野部会長より青年部会チャリティ基金へ多額の寄付のあった群馬県トラック協会桐生支部青年部会並びに佐波伊勢崎支部青年部会に感謝状を贈呈しました。

令和という新しい時代を迎え、最初の全体研修交流会に多くのご来賓と部会員の皆様にご参加いただき、終始賑やかなムードのなか大盛況のうちに幕を閉じることが出来ました。参加された皆様大変ありがとうございました。
(吾妻支部幹事 安原 新)





関東トラック協会青年部会4県合同意見交換会へ参加

- 開催日 令和2年2月1日(土)
- 場所 ホテルニューイタヤ(栃木県宇都宮市)
- 参加者 当県14名(総勢59名)

令和2年2月1日(土)関東4県による意見交換会が開催されました。

本研修会は、北関東の群馬県・栃木県・茨城県の3県に千葉県が加わり4県で開催しており、今回は総勢59名が参加しました。

開会の挨拶後、最初に各県の青年部活動の報告があり、当県からは筆頭副会長である大河原副副会長が発表を行いました。トラック業界のイメージアップ、交通安全活動に特化している県などもあり、各県ともに特色のある活動内容で今後の青年部会活動の参考となりました。

続いての意見交換会では、「交通事故・労働災害防止の取り組み」をテーマにして3～4人の少数単位でグループディスカッションを行いました。くじ引きで各テーブルの代表者が取り纏めたディスカッション内容の発表を行い、当県からは大河原副副会長、田中幹事、嶋田幹事、滝澤の4名が発



表しました。同じ悩みを抱え対策に取り組んでいることが良くわかりました。

その後の懇親会・二次会では、他県の部会員の方々とお酒を交えながら交流も深められました。

今後は関東圏だけでなく、他ブロックの部会員の方々と交流し、より広い範囲で情報交換を行える場を部会員の皆様に提供できるよう委員会として企画していきます。（渉外委員長 滝澤将司）



（公社）全日本トラック協会青年部会令和元年度第3回全国代表者協議会へ参加

- 開催日 令和2年2月20日（木）
- 場 所 全日本トラック総合会館
- 参加者 当県1名（総勢58名）

第3回（公社）全日本トラック協会青年部会全国代表者協議会が、58名の全国代表者が参加し、盛大に開催されました。

第1部研修会では、結城賢進部会長の挨拶の後、国土交通省自動車局貨物課長の伊地知英己様による「トラック業界を取り巻く当面する諸課題等について」をテーマに、トラック事業に係る直近の国土交通省の取り組み等について分かり易く丁寧にご教



授いただきました。

また、協議事項に先立ち、新たに中国ブロック代表の副部会長に河合智哉氏が就任した旨の報告を行いました。

続いて、協議事項として令和元年度青年部会活動報告、令和2年度事業計画案、社会貢献活動等について協議が行われ、滞りなく原案通り了承されました。

第2部交流会では、各都道府県代表者とリラックスした雰囲気の中、ヒューマンネットワーク構築に向けて、楽しく交流を深めることができました。 (部会長 磯野哲也)

令和元年度（公社）全日本トラック協会青年部会全国大会へ参加

- 開催日 令和2年2月21日（金）
- 場 所 京王プラザホテル
- 参加者 当県10名（総勢753名）

（公社）全日本トラック協会青年部会全国大会が京王プラザホテルにて、コロナウィルスの感染拡大が懸念されるなか盛大に開催されました。

開会にあたり、結城会長の力強い挨拶から始まり、（公社）全日本トラック協会 副会長の田中享様、自由民主党 青年局長の小林史明様、国土交通省 自動車局貨物課長の伊地知英己様から挨拶をいただきました。

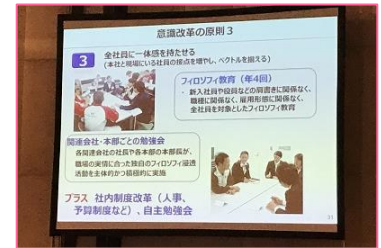
次に群馬県も数年前に銀賞をいただいた「青年経営者等による先進的な事業取組に対する顕彰」の表彰式が行われました。今回は金賞無し、銀賞に兵庫県の石見サービス(株)、銅賞に東京都の(一社)東京都トラック協会多摩支部青年部が選ばれ、それぞれ壇上で表彰、受賞挨拶・発表を行いました。

令和元年度青年部会活動報告では、五月女副部会長が実施した青年部会の活動を報告しました。

研修では、（公社）全日本トラック協会青年部会が寄与している整備実習用トラックの活用状況と高校生の就職観について、全国自動車教育研究会の理事 安部幹也氏より説明をいただいたほか、基調講演では、「働く意識を変えるーJAL再生から学ぶ経営者のあり方」をテーマに(株)MTG 取締役会長の大田嘉仁氏を講師にお迎えし、当時JAL再生にかけた稲盛会長の哲学「損得ではなく、人として何が正しいのか」を成功の方程式という考え方も踏まえて講演いただき、参加者が熱心に拝聴していました。

また、懇親会では、他県の青年部会と交流を図り、最後は全国の仲間と1つの輪になり「栄光の架け橋」を一緒に熱唱して大会の最後を締め括りとなりました。 (渉外委員長 滝澤将司)





北毛三支部働くトラック絵画コンクール展示会を開催

- 開催日 令和元年12月13日(金)
～令和2年1月10日(金)
- 場所 道の駅こもち休憩所
- 参加者 部会員13名

今年度も、子供たちの冬休み期間中に合わせて、渋川・吾妻・沼田の三支部合同で「第24回働くトラック絵画コンクール選考作品展示会」を渋川市の「道の駅こもち」において開催しました。



今回の展示作品にも子供たちの想像力豊かな絵画が多く、未来へ向けてのトラックや我々の業界に対する安全への願いを込めた作品が会場中に展示されました。展示した作品を熱心に見ている家族連れや観光客など、絵を見て喜ぶ姿がとても微笑ましく感じました。

今後このような活動を継続して企画し、トラック業界の発展につなげていきたいと思っております。
(副部会長 高橋利光)

新規加入部会員紹介

支部	氏名	会社名	役職
大間々支部	阿部 拓美	(有)阿部商事	
大間々支部	根本 悠祐	根本運送(株)	
大間々支部	山上 直樹	山上運送(株)	代表取締役
多野藤岡支部	上村 祐輔	(株)金城商会	安全衛生係

青年部会に新たに加入いただきました部会員です。
皆様よろしくお願いたします。

新規加入部会員募集

青年部会に興味のある方は、事務局又は
青年部会幹事までお気軽にご連絡下さい。
みなさまのご参加をお待ちしています。

★問合せ先★ 青年部会事務局（武井）

TEL027 - 261 - 0244

◆ 令和2年度上半期活動スケジュール ◆

日時	行事名	場所
4月 1日(月)	第25回働くトラック絵画コンクール募集開始	
6月26日(金)	第32回(公社)全日本トラック協会青年部会関東ブロック大会	カンデオホテル千葉
6月27日(土)	第27回関東トラック協会青年部会チャリティゴルフ大会	東千葉カントリークラブ

※4/30 現在で上記イベントは、中止となりました。

お薦めの一冊



思うは招く～夢があればなんでもできる～ 著：植松努

以前に著者である株式会社植松電機 代表取締役 植松努氏の講演会を拝聴させていただきました。

著者が書いている「どうせ無理」という言葉は、人の可能性を奪い、興味を持たなくなり、やる前に諦め、考えなくなってしまう。

しかし、「だったらこうしてみたら？」という言葉は、人の可能性を広げ、やったことが無いことに挑戦し、あきらめず、より良くを求めるようになるということを知り、言葉の力の凄さを著者の講演で知ることができました。

講演もお薦めですが、様々な本を出していますので、皆様も是非読んでみてください。

(前橋支部幹事 川井基義)

群ト協青年部会ウェブページのご案内

青年部会では、群ト協ホームページ内に青年部会ウェブページを公開しています。
活動予定や活動状況等、様々な情報を適宜更新していますのでご活用願います。
なお、ウェブページに関するご意見、アイデア等は青年部会事務局へご連絡下さい。

➡ 群ト協青年部会ホームページ <http://www.gta.or.jp/seinen/index.html>

